



2021年3月期 第1四半期 連結決算概況

免責事項

- 本資料のうち、業績見通し等は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいたものであり、判断や仮定に内在する不確定な要素および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が目標と大きく異なる結果となる可能性があります。
- また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行って下さいますようお願い致します。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

第1四半期連結実績

- ☑ 売上高： 新型コロナウイルスの影響を受け、全事業で大幅な減収
5月から6月にかけて、前年同月比の減収率が縮小
- ☑ 営業利益： 費用支出を抑え、厳しい事業環境においても黒字を確保
主力の内視鏡事業が牽引

通期業績見通し

- ☑ 連結業績予想は引き続き「未定」
新型コロナウイルスの世界的な感染拡大による先行き不透明な状況が継続しており、業績予想の合理的な算定が困難

01

**2021年3月期 第1四半期
連結業績および事業概況**

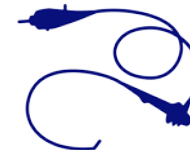
2021年3月期 第1四半期実績 ①連結業績概況

- 1 売上高： 新型コロナウイルスの影響を受け、全事業で減収
- 2 営業利益： 厳しい事業環境においても内視鏡事業が牽引し、黒字を確保

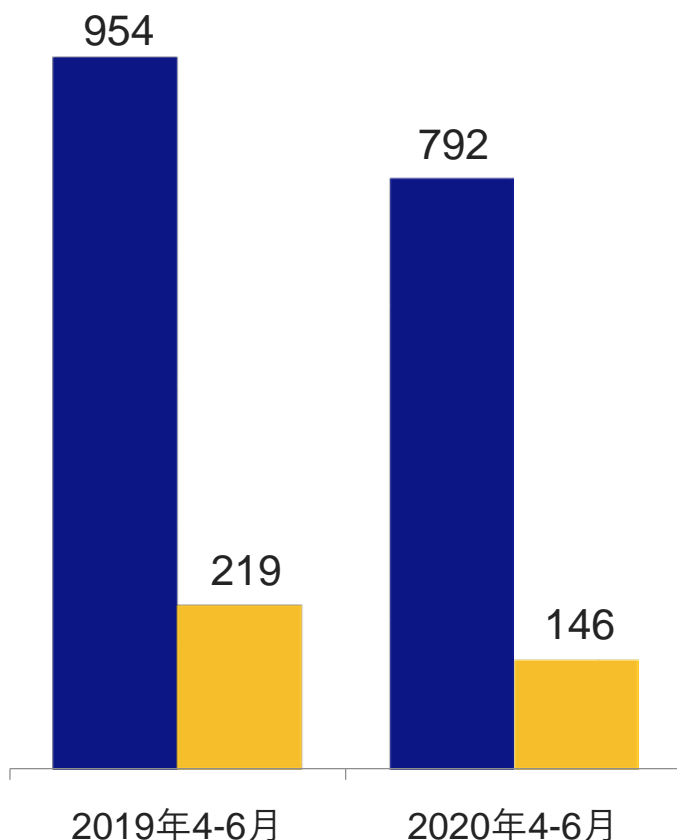
(単位：億円)	第1四半期実績（4-6月）				参考数値
	2020年3月期	2021年3月期	前年同期比	為替影響調整後	為替+Covid-19 影響調整後
売上高	1,819	1,424 1	▲22%	▲19%	▲340億円
売上総利益 (売上総利益率)	1,167 (64.2%)	873 (61.3%)	▲25%	▲22%	-
販売費および一般管理費 (販売費および一般管理費率)	1,011 (55.6%)	846 (59.4%)	▲16%	▲14%	-
その他の収益および費用等	▲9	▲14	-	-	-
営業利益 (営業利益率)	147 (8.1%)	12 (0.8%) 2	▲92%	▲80%	▲110億円
税引前利益 (税引前利益率)	136 (7.5%)	2 (0.1%)	▲98%		
親会社の所有者に帰属する当期利益 (親会社の所有者に帰属する当期利益率)	86 (4.7%)	▲27 (-)	▲114億円		
EPS	6円	▲2円			
円/USドル	110円	108円			
円/Euro	123円	118円			
円/CNY	16円	15円			

2021年3月期配当
未定

2021年3月期 第1四半期実績 ②内視鏡事業



■ 売上高 ■ 営業利益
(億円)



✓ **売上高** 新型コロナウイルスの影響があり減収するも、中国はプラス成長
(為替影響調整後+3%)

✓ **営業利益** 厳しい事業環境の中でも、為替影響を除けば営業利益率約20%を実現

第1四半期実績 (4-6月)

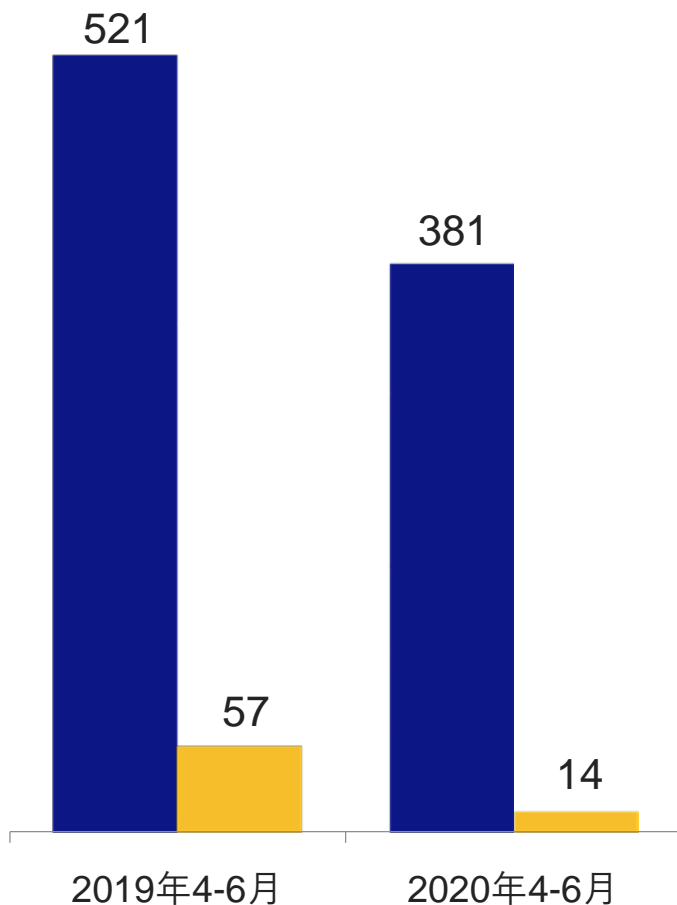
単位: 億円	FY2020	FY2021	前年同期比	為替影響調整後
売上高	954	792	▲17%	▲14%
営業利益	219	146	▲33%	▲27%
その他の損益*	2	▲4	-	-
営業利益率	23.0%	18.5%		19.4%

*決算短信に記載の「その他の収益/費用」の数値

2021年3月期 第1四半期実績 ③治療機器事業



■ 売上高 ■ 営業利益
(億円)



✓ **売上高** 緊急度に応じて症例数が減少し、全地域で減収

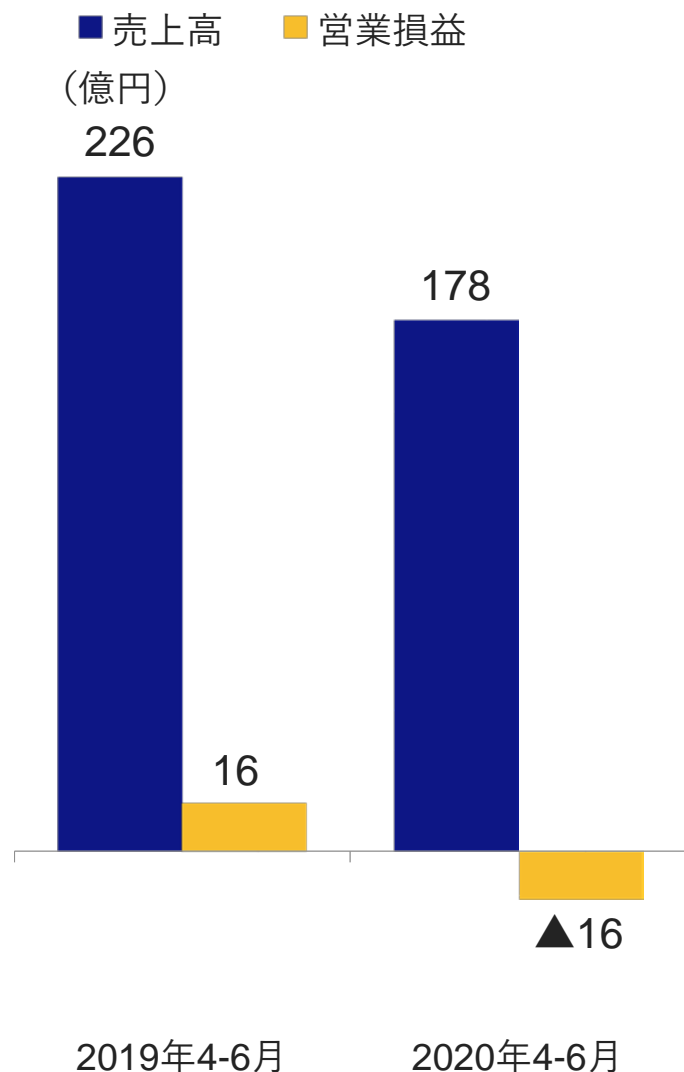
✓ **営業損益** 減収となるも、費用を圧縮し、黒字を確保

第1四半期実績 (4-6月)

単位: 億円	FY2020	FY2021	前年同期比	為替影響調整後
売上高	521	381	▲27%	▲24%
営業利益	57	14	▲74%	▲69%
その他の損益*	0	▲3	-	-
営業利益率	10.9%	3.8%		4.5%

*決算短信に記載の「その他の収益/費用」の数値

2021年3月期 第1四半期実績 ④科学事業



✓ **売上高** 新型コロナウイルスの影響を受け減収となるも、中国は増収を達成

✓ **営業損益** 減収を主要因として、営業損失を計上

第1四半期実績 (4-6月)

単位: 億円	FY2020	FY2021	前年同期比	為替影響調整後
売上高	226	178	▲21%	▲18%
営業損益	16	▲16	▲32億円	▲30億円
その他の損益*	▲2	▲3	-	-
営業利益率	7.3%	-		

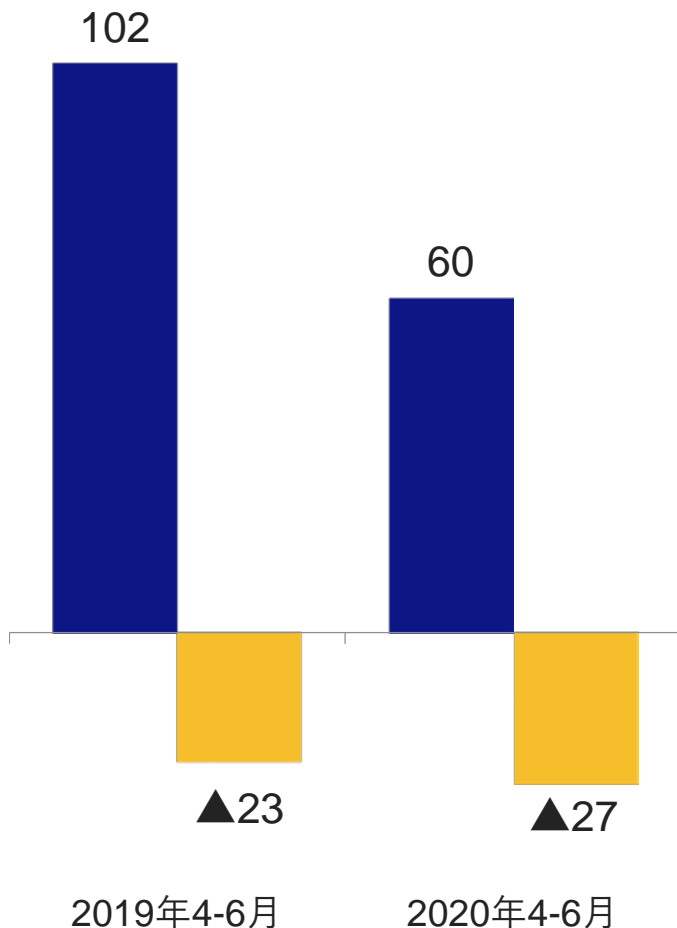
決算短信に記載の「その他の収益/費用」の数値



2021年3月期 第1四半期実績 ⑤映像事業

■ 売上高 ■ 営業損益

(億円)



✓ **売上高** 新型コロナウイルスの影響を大きく受けて減収

✓ **営業損益** 減収を主要因として、損失が拡大

第1四半期実績 (4-6月)

単位: 億円	FY2020	FY2021	前年同期比	為替影響調整後
売上高	102	60	▲41%	▲39%
ミラーレス	77	48	▲38%	▲36%
コンパクト	12	6	▲52%	▲51%
その他	13	7	▲46%	▲44%
営業損益	▲23	▲27	▲4億円	▲5億円
その他の損益*	▲5	▲2	-	-
営業利益率	-	-	-	-

*決算短信に記載の「その他の収益/費用」の数値

財政状態計算書

- ☑ 安定的な事業運営のために現預金を確保
- ☑ 長期借入金の調達やコマーシャル・ペーパーの発行により、社債および借入金が増加

(単位：億円)	2020年3月末	2020年6月末	増減額
流動資産	5,067	6,044	+977
棚卸資産	1,676	1,833	+157
非流動資産	5,090	4,947	▲143
有形固定資産	2,021	2,013	▲8
無形資産・その他	2,085	1,960	▲125
のれん	983	974	▲10
資産合計	10,157	10,991	+834

	2020年3月末	2020年6月末	増減額
流動負債	3,338	3,444	+106
社債及び借入金	810	1,119	+309
非流動負債	3,099	3,927	+828
社債及び借入金	1,999	2,840	+841
資本	3,720	3,620	▲100
自己資本比率	36.5%	32.8%	▲3.7pt
負債及び資本合計	10,157	10,991	+834

有利子負債：3,959（2020年3月末比+1,150）

連結キャッシュフロー計算書

- ☑ FCF：営業利益の減少により、39億円のマイナス
- ☑ 財務CF：長期借入による調達により、1,118億円のプラス

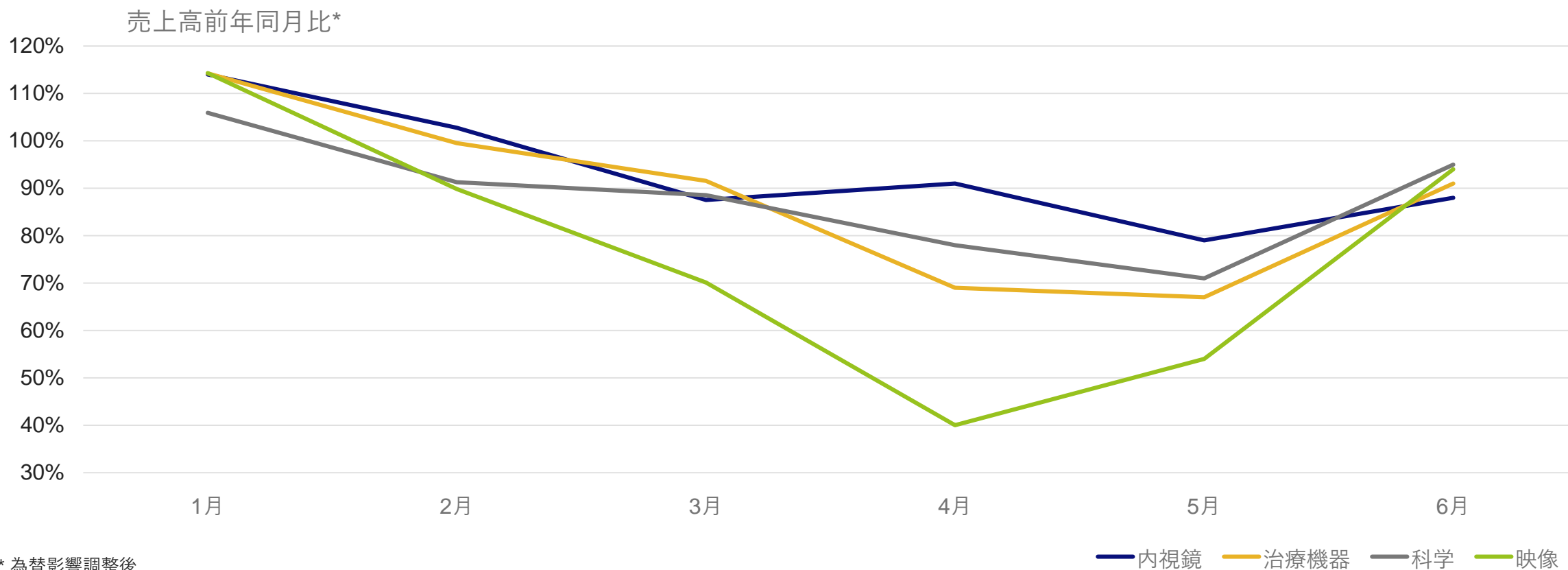
第1四半期実績（4-6月）

（単位：億円）

	2020年3月期	2021年3月期	増減
売上高	1,819	1,424	▲395
営業利益	147	12	▲135
営業利益率	8.1%	0.8%	▲7.3pt
営業キャッシュフロー	284	84	▲200
投資キャッシュフロー	▲155	▲123	+32
フリーキャッシュフロー	129	▲39	▲168
財務キャッシュフロー	▲113	1,118	+1,231
現金及び現金同等物期末残高	1,137	2,707	+1,569

1月-6月の状況

新型コロナウイルス感染症の影響により、2月以降売上高の減少傾向だったが、5月から6月にかけて減収率が縮小
業績予想の合理的な算定が困難



ニューノーマルに向けた取り組み

ニューノーマルに向けた取り組みを加速し、医療従事者や顧客の活動をサポート

MedPresence*の活用

- 医療分野で求められる高いITセキュリティを備えたリアルタイム遠隔医療支援システム
- 消化器科、外科だけでなく、呼吸器科も含めて、医療従事者の医療現場における立ち会いを最小限にし、医療支援の授受が可能



* 米国と欧州で導入済み

オンラインのトレーニングやデモンストレーションの開催

- オンラインでのトレーニングやデモンストレーション、セミナー等を実施し、新型コロナウイルスの環境下においても医療従事者や顧客の活動をサポート
- 今後、デジタル化を軸に、新たな顧客へのアプローチ方法を追求していく



顕微鏡のオンラインでのデモンストレーション



医療機器のオンラインでのセミナー

FY2021

持続的な成長に向けて、真のグローバル・メドテックカンパニーへの転換を加速させる好機



事業ポートフォリオ
の選択と集中



固定費の
構造改革



次世代消化器
内視鏡 EVIS X1の
確実な市場導入



今後の成長を
牽引する製品
開発への着実な
投資継続



効率的な
研究開発

- ✓ 6月24日 日本産業パートナーズ株式会社と映像事業の譲渡に関する意向確認書を締結
- ✓ 次世代消化器内視鏡「EVIS X1」を4月23日から欧州・アジア一部地域で、7月3日から日本で発売

持続的な成長を見据え、必要な投資を実施



約3,500～4,000億円の流動性を確保*

- 約2,700億円の現預金を保有**
- 2020年7月に社債（5年、10年）にて長期安定資金500億円を追加調達
- 上記の他、コミットメントライン（約1,000億円）を保有



ビジネスデベロップメントの活動を強化

- キャッシュの安定的な確保を継続的に行い、必要なM & Aも検討していく

*2020年7月末時点 **2020年6月末時点

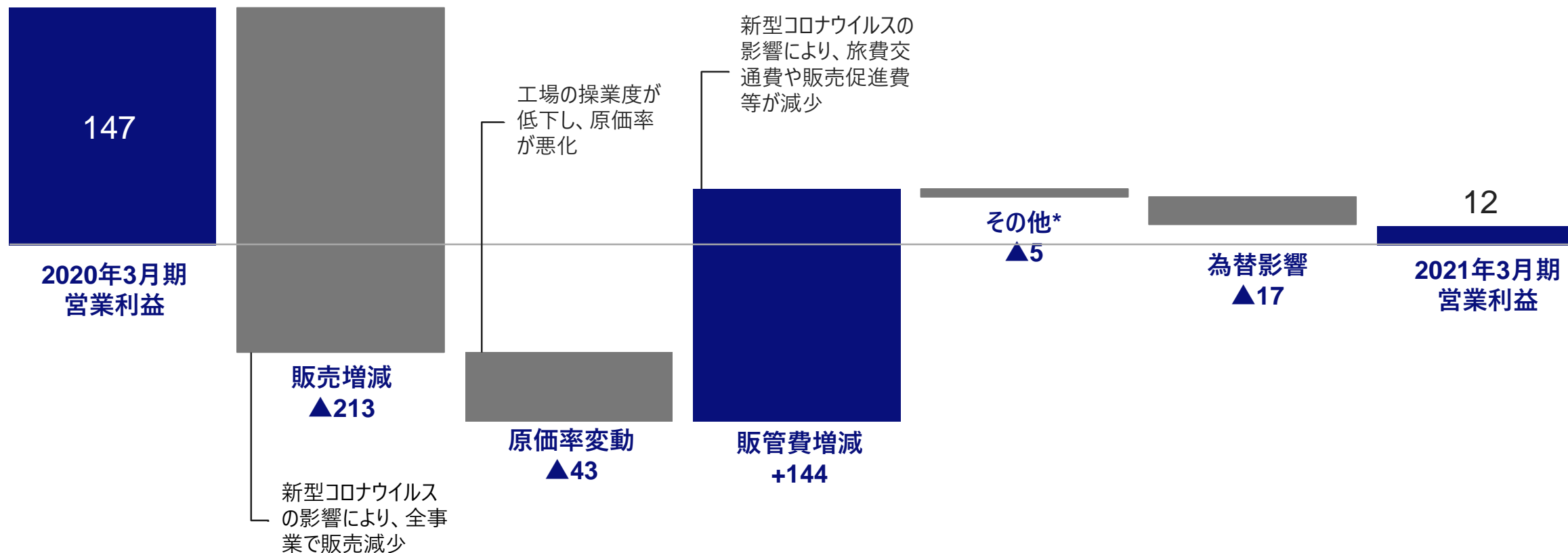
OLYMPUS

A thick, yellow, brushstroke-style underline that tapers at both ends, positioned directly beneath the word "OLYMPUS".

02 Appendix

参考資料：2021年3月期 第1四半期実績 ①連結営業利益増減要因

第1四半期実績（4-6月）



(単位：億円) *その他には、決算短信に記載の「持分法による投資損益」、「その他収益」、「その他費用」が含まれています。

参考資料：2021年3月期 第1四半期実績 セグメント別概況

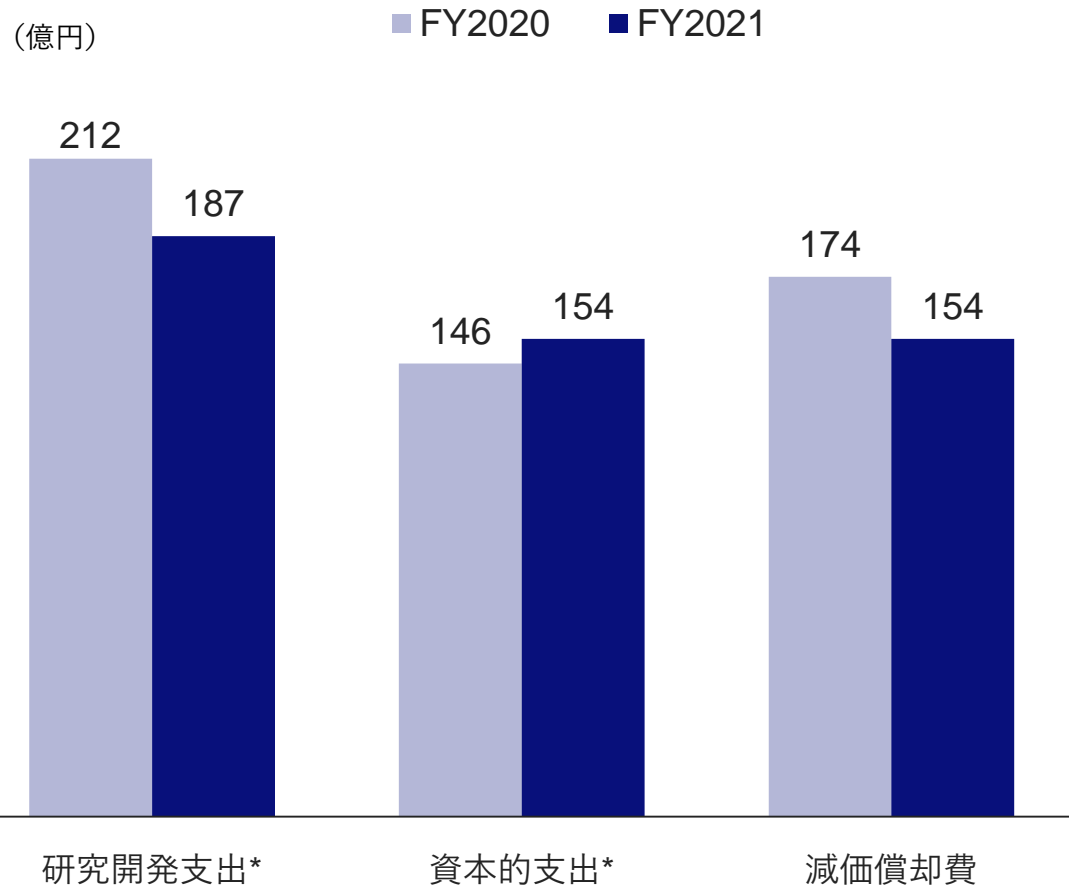
第1四半期実績（4-6月）

参考数値

単位：億円		2020年3月期	2021年3月期	前年同期比	為替影響調整後	為替+ Covid-19 影響調整後
内視鏡	売上高	954	792	▲17%	▲14%	-
	営業利益	219	146	▲33%	▲27%	-
治療機器	売上高	521	381	▲27%	▲24%	-
	営業利益	57	14	▲74%	▲69%	-
科学	売上高	226	178	▲21%	▲18%	-
	営業損益	16	▲16	▲32億円	▲30億円	-
映像	売上高	102	60	▲41%	▲39%	-
	営業損益	▲23	▲27	▲4億円	▲5億円	-
その他	売上高	16	13	▲18%	▲18%	-
	営業損益	▲6	▲4	+2億円	+2億円	-
全社・消去	営業損益	▲115	▲101	+14億円	+13億円	-
連結合計	売上高	1,819	1,424	▲22%	▲19%	▲340億円
	営業利益	147	12	▲92%	▲80%	▲110億円

参考資料：投資等

第1四半期実績（4-6月）



(単位：億円)

	FY2020	FY2021
研究開発支出* (a)	212	187
開発費資産化 (b)	33	34
損益計算書上における 研究開発費 (a-b)	179	153

(単位：億円)

	FY2020	FY2021
償却費	17	20

	2020年3月末	2020年6月末
開発資産残高	477	492

* 研究開発支出および資本的支出には、開発費資産化(b)の数値が含まれています